



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

2021年5月19日朝刊東部版

西伊豆町地域おこし協力隊の酒井さん

地域活性化を目指し、サニーレタスの栽培に取り
組む酒井さん。西伊豆町宇久須



西伊豆町地域おこし協力隊の酒井宏治さん(51)が、町特産のかつお節を肥料に使った無農薬野菜の栽培を進めている。21日から同町の直売所「はんばた市場」で、サニーレタスの販売を始める。

特産かつお節で野菜栽培

サニーレタス 21日から直売所で販売

酒井さんは農業に従事する同協力隊として昨年3月に金沢市から移住した。「地域資源を生かしたブランド野菜をつくりたい」との思いから、浜松市の「うなぎいも」の例を参考にかつお節を使う農法を生み出した。かつお節は同町の老舗「カネサ鯉節商店」から取り寄せる。肥料に混ぜることで土壌の微生物の活動を活性化させ、作物の生育に好影響が期待できるといふ。

酒井さんは移住後、耕作放棄地の再生から始め、現在はジャガイモやトウモロコシの栽培にも注力する。「今後もかつお節野菜シリーズとしてさまざまな作物を出荷してPRし、地域活性化につなげたい」と意気込む。(松崎支局・土屋祐人)

- ①西伊豆町地域おこし協力隊の方が、町特産のかつお節を肥料に使った無農薬野菜の栽培を進めていることが記事から読み取れる。かつお節を肥料に使う農法は、どのような地域でどのような作物を栽培することからヒントを得たのか。説明しなさい。
()
- ②農業で肥料を使うことに関して、日本の歴史を振り返るとさまざまな工夫が見られてきた。鎌倉時代に草木を焼いて灰にした肥料の使用が広がったが、この肥料を何というか。漢字3字で答えなさい。
()
- ③江戸時代の農業で作物の収穫量が上昇した理由の一つに、農村で金肥と呼ばれるさまざまな肥料の購入が挙げられる。金肥の例を一つ答えなさい。
()
- ④西伊豆町での地域おこし協力隊によるサニーレタスの販売のように、地元で栽培される野菜を今後どのように町おこしにつなげていくことができるのか。記事を参考にしながら、あなたの考えを書きなさい。
()

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2021年5月19日朝刊東部版

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

西伊豆町地域おこし協力隊の酒井さん

地域活性化を目指し、サニーレタスの栽培に取り
組む酒井さん。西伊豆町宇久須



西伊豆町地域おこし協力隊の酒井宏治さん(51)が、町特産のかつお節を肥料に使った無農薬野菜の栽培を進めている。21日から同町の直売所「はんばた市場」で、サニーレタスの販売を始める。

特産かつお節で野菜栽培

サニーレタス 21日から直売所で販売

酒井さんは農業に従事する同協力隊として昨年3月に金沢市から移住した。「地域資源を生かしたブランド野菜をつくりたい」との思いから、浜松市の「うなぎいも」の例を参考にかつお節を使う農法を生み出した。かつお節は同町の老舗「カネサ鯨節商店」から取り寄せる。肥料に混ぜることで土壌の微生物の活動を活性化させ、作物の生育に好影響が期待できるといふ。

酒井さんは移住後、耕作放棄地の再生から始め、現在はジャガイモやトウモロコシの栽培にも注力する。「今後もかつお節野菜シリーズとしてさまざまな作物を出荷してPRし、地域活性化につなげたい」と意気込む。(松崎支局・土屋祐人)

①西伊豆町地域おこし協力隊の方が、町特産のかつお節を肥料に使った無農薬野菜の栽培を進めていることが記事から読み取れる。かつお節を肥料に使う農法は、どのような地域でどのような作物を栽培することからヒントを得たのか。説明しなさい。

((例)浜松市の「うなぎいも」の栽培の例から、かつお節を肥料に混ぜ土壌の微生物を活性化させる農法。)

②農業で肥料を使うことに関して、日本の歴史を振り返るとさまざまな工夫が見られてきた。鎌倉時代に草木を焼いて灰にした肥料の使用が広がったが、この肥料を何というか。漢字3字で答えなさい。

(草木灰)

③江戸時代の農業で作物の収穫量が上昇した理由の一つに、農村で金肥と呼ばれるさまざまな肥料の購入が挙げられる。金肥の例を一つ答えなさい。

((例)干鰯、油粕などから一つ。)

④西伊豆町での地域おこし協力隊によるサニーレタスの販売のように、地元で栽培される野菜を今後どのように町おこしにつなげていくことができるのか。記事を参考にしながら、あなたの考えを書きなさい。

((例)地元での特産物など地域資源を生かすことで、従来販売していた野菜をよりブランド化し、地域を活性化していく流れをつくること。)

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)